

OMOIKASANETE



想かされて

RUI KAMISHIRO x TSUKASA TENMA



想か×ねて

この本は個人的につくられた非公式ファンブックです。
原作者様・出版者様とは一切関係ありません。
無断転載・複製・複写・WEB上への掲載
(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)は禁止です。

README

UNOFFICIAL 100%
MADE IN JAPAN

DO NOT
COPY
FOR SALES



DO NOT
UPLOAD



DO NOT
REPOST



DO NOT
RESELL



DO NOT
MODIFY



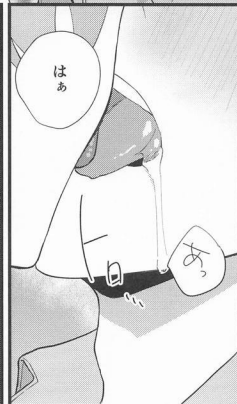
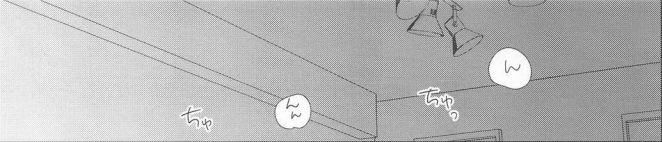
NO REPRODUCTION OR REPUBLICATION W/O
THE AUTHOR'S PERMISSION. DO NOT SHARE IT
ANY 3rd PARTY.

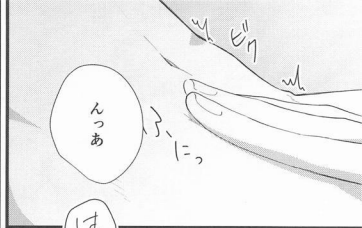
ALL RIGHTS RESERVED. EXCEPT FOR PRINTING AND
STORAGE THEREOF FOR PERSONAL USE AND FOR
OTHER USES AUTHORIZED BY COPYRIGHT LAWS,
ANY REPRODUCTION, TRANSMISSION TO THE PUBLIC,
DISTRIBUTION, ALTERATION OR REPRINTING ON
OTHER WEBSITES OF THE WORKS WITHOUT PRIOR
AUTHORIZATION OF THE COPYRIGHT OWNERS IS
PROHIBITED BY COPYRIGHT LAWS.



DISPOSAL METHOD:
Please discard this book as burnable garbage,
after making its contents illegible.

禁止所有副本。禁止上傳到網絡。
禁止所有副本。禁止上傳到網絡。
모든 복사는 금지되어 있습니다.
네트워크에 업로드 금지되어 있습니다.









想か×板

えむくんの夢を
守るために
他のショーステージに
協力をお願いする
ことが決まった

えむくんの
考えた案も
演出に盛り
込んで…



全てのショー
ステージと
全ての
アトラクションを
巻き込んだ
ショー…か

以前の僕なら――

これは
ラストにして

この突拍子もなく
大掛かりな計画を
考えたとしても
提案はしなかった
かもしれない



「言わない」
という選択は
しなかった

この変化は
きつと
司くんの
影響で…



待たせたな！



でも、他の
スタッフたちは
どうだろうか…





それで



次の
ショーに
ついてね

まだ途中なのと…

ショー自体は
本当に突拍子も
ないものだし

ただでさえ
ショーコンテストの
真っ最中だ

皆は納得して
くれたけれど
他のスタッフや
ショーステージの皆が
なんていうか…とね

確かにそうだな…
最悪オレたちのが
居場所がなくなっ
てしまいうかも
しれないんだ

悩むのも
無理もない

協力してくれるかは
オレたちの説得
次第とはいえ…

だが類が
考えた案は
最高のものだ！

それは誰にも
否定させない！！

どちらにしても
オレがいる！
っている！

それにえむも
寧々もいる！
きつと
大丈夫だ！

ふふ
本当に
心強いね



何気ないこと
かもしれない
けれど

きつと
司くんは
とっては



悩んでいたのが
嘘のように
心が軽い



自分の臆病な
部分を認めても
いい気がしてくる

ニッニッニッニッ



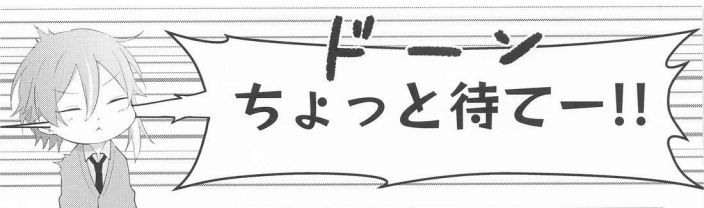
司くんが
好きだと
強く感じる



!!

ありがとう
司くん





ドーン
ちょっと待てー!!



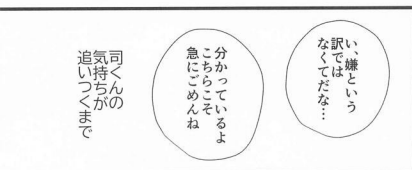
まだこういうことに
慣れないんだ

もう少し待って
くれないか...?



わ、悪い...

大丈夫だよ



司くんの
気持ちを追いつくまで

分かっているよ
こちらこそ
急にごめんね

いい嫌という
訳では
なくてだな...



焦らずに待とうと
思えるのも

司くん

僕のこと
好きかい?



心のつながりを
強く感じるから

想かへ

フェニックス
ステージの皆や
青龍院さんの
協力もあり

フェニックス
ワンダーランド
すべての
スタッフと

シヨウキヤストを
巻き込んだ
シヨウを行っ
ことが決まった

日中も学校で
練習する日々が
始まって

司くんとい
一緒にいる
時間が増えた

考え物だね

この近さは
わざと……
なんだろうか？

目合がも
悪いのか？

オオ、夫だよ

あんまり近くにいたら
また触れなくなってしまう

でも

これは……
ピラッ

ふう

我慢……
我慢……

司くんから
言ってくる
までは

アハハ……

司くんを
わけじやない
わ……

天馬司は
悩んでいた

最近類が
何もしてこない

最後にキスを
したのはいつだ…

ショーの練習で
一緒にいる
時間が増えたが

その時間も
演技の練習に加え
演出の確認で
終わってしまう

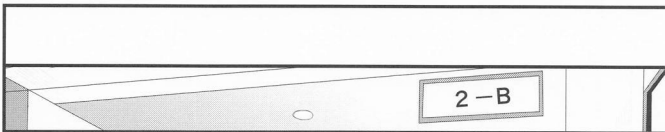
お互い
ショーのこと
となれば寝食を
忘れるほど
夢中になるし

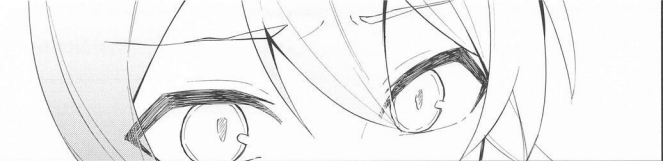
分からないでも

な、なぜだ…!!

微妙に
避けられている
気がする…!!

ないが…







その接触に
特別な意味が
ないことなんて

分かっている









想か×板



ショーを見る
全員を笑顔に
したい!!

まさかあの偉そうで
変な役者が皆の心を
ひとつにまとめ
あげるなんて

ふふ…
なかなか
やるじゃない



草薙さん
今のところ
教えてもらって
いいかな?

わ…
わかった
う、歌って
みてくれる?



ここの振りって
どうなってる
んですか?

えっとね!
ここは右、左
ぶんぶん
ぐるーん、ぱっ!
だよ!



おお!
今そっちに
いくぞ!

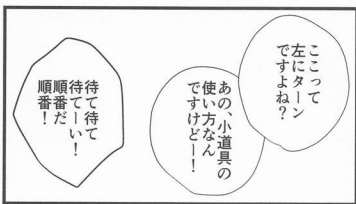


あのー!
ここでの
ポジション
教えてもらえ
ませんかー!!

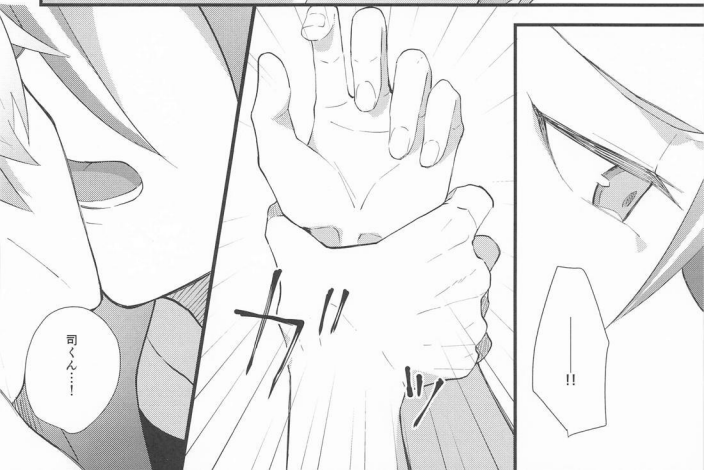


上手く
みたいだね

そうだな











想か×ね

ショーはもちろん
大成功だ！

うん
すごくよかったよ



二人だと
少し手狭だな…

…



準備はして
あるんだが、
シャワーで汗を
かいたからな

しっかりと
流さないと

緊張して
いるのか？

ずい



…

してるよ

司くんが
好きなから



3回目
↓

ム。

ふふふ

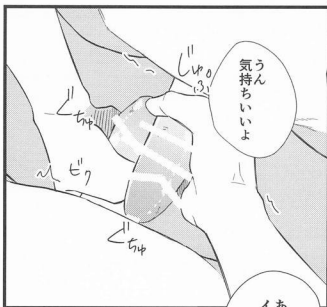
何回
洗うんだい？

そういって、
司くんこそ





類も一緒に……



あゝも
イツゝく



……あちち

類も
気持ちいいか？





「あや?、
司くん
もしかして
自分で触っ
たのかい?」



指入れるよ



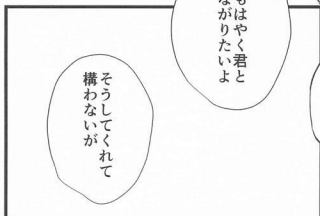
「準備は
してあると
言っただろう」

「僕がやりた
かったん
だからね」

「お前には
待たせて
なかったから」



ふふ



「僕もはやく君と
つながりたいよ」

「そうしてくれて
構わないが」



それに

「オレももう
待てない」







類の
全てが



気持ち
よかった？



気持ちいいー

いった
のかい…？



司くんの
全部で



僕のことだけ
考えて



司くん

僕だけを見て

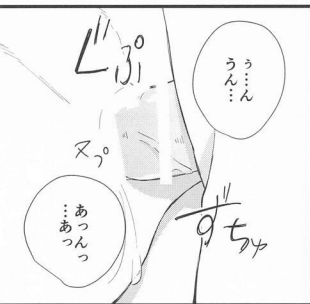




このまま
司くんの
中で
イかせて…



あっあ!あっ
んんんあ!



う…ん
う…ん

あっ
あっ
あっ

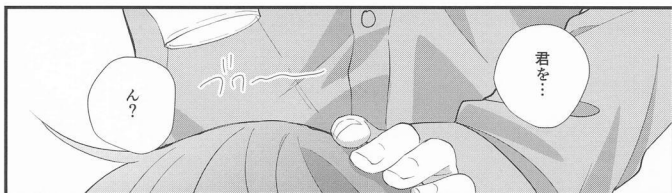


好きだよ
司くん

ずっと…
欲しかった



るい…
るい…
すきだ…
おれも







オレだって
類のそういうのを
もっと知りたいんだ

それに



最初は触られる
ことを避けて

今はこんなにも
近くにいる

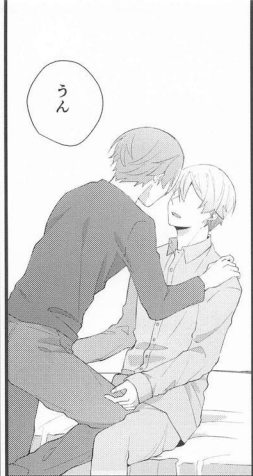


お前の
ああいう顔を
見られるのも
オレだけなんだ

この機を
逃す手は
ないだろう



これからはオレも
類と同じ速さで
進んでいきたい



ここまでお読みいただきありがとうございました！

やっと出せました初夜！！

顔は、司を傷つけないために泥山調べてそうだな～と思いました。

持ち前の器用さですぐ実践できそう…。

想、かゝねて

2023/12/17

DRFes 巡るいつかのSTAGE

Presents

SHIN-AI toa

Twitter

@toaprsk_2380

Pixiv

2641889

Mail

toapuroseka@gmail.com

印刷

スズトウシャドウ印刷 様

ご感想いただけると
嬉しいです！



ありがとうございました。

Project SEKAI UNOFFICIAL FANBOOK #03
RUI KAMISHIRO x TSUKASA TENMA
PRESENTED by SHIN-AI
2023/12/17